

「ままいんたーん」はじめたのにな？
なににやのにな？

議会での質問などにも反映されるにな？

今までは学生のインターン(お仕事体験)に春休みと夏休み、年に二回来てもらっていたの。そのママ版だね。

日々、メッセージャーなどのやりとりで聞いた意見を議会の委員会とかで使わせてもらっているよ!

子どもが生まれると政治に関心を持つ方も多いの。そこで、いちばん身近な区が何をやっているのかわかってもらうきっかけの一つにしてほしいなって。

「議会って実は身近なんだ」「議員って案外普通なのか」と思ってもらえたら嬉しいな。

ママたちにどんなことを体験してもらってるにな？



全員揃ったオンラインミーティングの様子
(インターンは加工してあります)

まちにどんな課題があるかなって日常の中で探してほしいと伝えてます。「これもっとこうだったらいいのにな」と思っていることがまずは行政に伝わる。それからうまくすれば改善されるかもしれない。

それから、もちろん議会の傍聴なんかしてもらっているよ!

本目さよ プロフィール

1982年3月10日生 38歳
成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了。研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係』。修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。2019年3月に3選を果たす。台東区では唯一の30代で子育て中の女性議員。

声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特効薬としての子育て支援に力を入れていることからキャッチフレーズは「子育て、本命!ーやさしい政策ー」「議員のあり方」とは何か?を模索しながら区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる女性議員を増やすための超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。子育て・若者支援特別委員会委員長。一児の母。

党籍：無所属
会派：つなぐプロジェクト
資格：保育士
趣味：読書
おかしづくり
好きな物：くだもの

 <http://www.sayohomme.com/>
 [facebook.com/hommesayo](https://www.facebook.com/hommesayo)
 @sayohomme
 <http://ameblo.jp/hommeisayo/>



台東区の校則について現状の調査をしたいと考えています。他自治体では下着の色の指定があったり、今の時代にそぐわないものがあると聞きます。WEBアンケートにご協力お願いします!

令和2年の予算って?・・・P2

ダブルケアとガブテック・・・P3

ママインターンはじめました
小中学校の校則調査へ協力をお願い・・・P4

台東区
議会議員

ほんめ
本目さよ



令和2年度台東区の予算を審議しました

議会に提出された一般会計予算1037億円の予算案を可決しました。

令和2年度予算案のポイント

◇過去最大の予算額

必要な予算を積み上げていき過去最大となっています。昨年は995億円ですが、これは区長選挙がある直前の予算のため、新たな事業や充実する事業などの政策予算が含まれていません。

◇貯金(今まで積み立ててきた基金)を使います

ここ数年はそこまで基金を使わずにすみましたが、来年度は使う経費が多くリーマン・ショック後と同じくらいの基金を使います。それだけ厳しい状況と言えます。

議員は予算案を可決するか否決するか決めるのも重要な仕事の一つですが、節約するところはして、でも使うところには使う(下記ピックアップに書きました!)ところを評価して可決しました。引き続き、予算がついた事業について、使い勝手がよいかどうかなどチェックをしながら改善提案などしていきます。

令和2年度予算ピックアップ!

多胎児(ふたご・みつご)支援をいち早く推進!



昨年の10月の決算特別委員会で、重要性を訴えた多胎児支援に早速、644万円の予算がつきました。具体的には職員向けの研修と産前産後ヘルパーを多胎児向けに拡大をすること、そして多胎児家庭向けのハンドブックを作成を行います。

小中学校の1人1台パソコン・タブレット推進!

国はGIGA(ギガ)スクール構想といって、大人は当たり前のように使いこなしているパソコンやタブレットを1人1台配置するという方針を打ち出しました。それに先立ち、**台東区では3学級につき1学級分のパソコン・タブレットを配置**します。また、将来的に1人1台タブレットを配置するために必要なWiFi環境の整備を実施するために、**合計約8億円**の予算を投じます。



その他に本目から提案したこと

※詳しい内容はブログで!

<こども>

- 自転車駐輪場の定期利用締め切りが保育園入園可否の結果発表前である点を指摘
- スタディクーポンの実施を推進すべき(東京都新規事業)
- 乳児向けの災害備蓄の充実(紙コップ-ミルクを飲ませる用)
- 公園でのプレイパークの実施とユニバーサルデザイン遊具の設置
- 学校休業に伴い家族間の軋轢やストレスが増えたことによる虐待リスクへの際の対応
- 清島温水プールでのベビースイミングの実施

<女性>

- いっつき保育※事業者の保育士住宅補助の推進
※1歳から6歳(未就学児)を理由を問わず時間単位で預かる制度
- ひとり親家庭への養育費不払い問題への対応(東京都の新規予算で実施されるもの)
- 父親の家庭参画のより一層の推進

ダブルケアへの対応の充実を!

※ダブルケアとは?

狭い意味だと育児と介護の両立のこと。広い意味だと複数のケアの両立やそれに伴う課題などのこと

50代女性の4割が自身では「ダブルケア」と気づかなくても経験しているダブルケア。

まとめて相談できる窓口がないため

- ・相談窓口の設置
- ・中長期的に伴走できる仕組みづくり
- ・ダブルケアをしている人が保育園に入りやすくなるようにすること
- ・企業においてダブルケアと仕事を両立しやすい環境づくりの推進を提案しました。



ガブテックの推進

※ガブテックとは?

政府(Government)とテクノロジー(Technology)を組み合わせた造語。行政手続等の効率化など自治体業務の課題を、ベンチャー企業やスタートアップ企業と連携し、ICTを活用して解決していく取り組み。

電子申請を推進していくための条例を今回の議会で可決しましたが、まだまだ電子申請が進んでいません。区民館の予約も仮予約しかできませんし、マイナポータルもほとんど利用できない。また、利用できるとしてもマイナポータルは使いづらい状態です。区民が利用しやすい電子申請を民間と一緒に作るべきではないか?と提案しました。言葉は難しいですが、簡単に言うと、今まで役所に行かなければできなかった手続きをスマホで家でできるようにするためにがんばれ!ということです。

これは、ダブルケアに直面している人や多胎児支援の観点からもとても重要であるため、今回区長へと提案しました。



<ICT・その他>

- RPA※のより一層の活用推進
※RPA: ロボティック・プロセス・オートメーション(プロセス自動化のこと)
- 区民館等の予約時に使用する公共施設予約システムの使い勝手の悪さ
- ユニバーサルカラーチョークの使用→電子教材の推進などで在庫があるため10/26校の使用。引き続き推進する
- 保育ソーシャルワーカーの実施